

I 平成30年度事業報告書

第1 基本財産

平成30年度末基本財産 3,940,161千円

運営基金	526,799千円
助成基金	3,413,362千円
再掲 保健福祉基金	2,379,070千円
子ども希望基金	1,034,292千円

※ 金額は、取得金額（基本財産元本）

第2 庶務の事項

1 役員・評議員構成

(平成31年3月31日現在,敬称略、五十音順)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長 理 事	小 向 正 悟	公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長
	川 井 博 之	株式会社岩手日報社常勤監査役
	木 村 宗 孝	一般社団法人岩手県医師会常任理事
	坂 口 繫 治	一般社団法人岩手県社会福祉士会会長
	新 屋 浩 二	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会専務理事
	高 橋 進	岩手県保健福祉部副部長
	平 藤 淳	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長
	藤 沢 清 美	一般社団法人岩手県芸術文化協会運営委員
監 事	梅 木 敬 時	梅木敬時税理士事務所所長
	松 川 求	元岩手県環境生活部長
評 議 員	及 川 吏 智 子	公益社団法人岩手県看護協会会長
	坂 下 浩 志	軽米町健康福祉課総括課長
	佐 藤 達 夫	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会会長
	菅 原 和 弘	岩手県中小企業団体中央会専務理事
	平 賀 圭 子	特定非営利活動法人参画プロジェクト・いわて理事長
	細 江 達 郎	岩手県立大学名誉教授
	米 田 ハツエ	岩手県民生児童委員協議会副会長
	村 上 秀 樹	盛岡市保健福祉部長

2 理事会の開催状況

(1) 第 22 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 35 条第 2 項）

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の決議の省略についての承認について

議案第 2 号 評議員の補欠選任について

議案第 3 号 理事の補欠選任について

議案第 4 号 決議のあったとみなす日

平成 30 年 5 月 9 日（水）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 長山 洋

(2) 第 23 回理事会

ア 開催日：平成 30 年 5 月 25 日（金）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 平成 29 年度事業報告及び収支決算について

議案第 2 号 平成 30 年度補正予算について

議案第 3 号 収支予算書に対する注記について

議案第 4 号 定款の変更について

議案第 5 号 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について

議案第 6 号 第 21 回評議員会の開催日程について

(3) 第 24 回理事会

ア 開催日：平成 30 年 6 月 20 日（火）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 理事長（代表理事）の選任について

議案第 2 号 事務局長の選任について

議案第 3 号 非業務執行理事等の損害賠償責任限定に関する契約の締結について

(4) 第 25 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の決議の省略についての承認について

議案第 2 号 理事の選任について

議案第3号 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について

議案第4号 理事の損害賠償責任限定に関する契約の締結について

議案第5号 決議のあったとみなす日

平成30年7月26日(木)

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向 正悟

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向 正悟

(5) 第26回理事会の開催及び決議の省略(定款第36条第2項)

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 公益目的事業の変更(事業の統合)に伴う認定申請について

議案第2号 決議のあったとみなす日

平成30年10月30日(火)

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向 正悟

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向 正悟

(6) 第27回理事会

ア 開催日:平成31年3月13日(水)

イ 開催場所:公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第1号 平成30年度補正予算について

議案第2号 基本財産の運用における配賦率の変更について

議案第3号 平成31年度事業計画及び収支予算について

議案第4号 収支予算に対する注記について

議案第5号 平成31年度資産運用計画について

議案第6号 事業内容の変更に伴う認定申請について

議案第7号 事務局長の選任について

議案第8号 第24回評議員会の開催日程について

3 評議員会の開催状況

(1) 第20回評議員会の開催及び決議の省略(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条)

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 評議員の補欠選任について

議案第2号 理事の補欠選任について

議案第3号 決議のあったとみなす日

平成30年5月9日(水)

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 長山 洋

(2) 第21回評議員会

ア 開催日：平成30年6月20日(水)

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第1号 平成29年度収支決算について

議案第2号 平成30年度補正予算について

議案第3号 収支予算書に対する注記について

議案第4号 定款の変更について

議案第5号 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について

議案第6号 理事の選任について

(3) 第22回評議員会の開催及び決議の省略(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条)

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 決議のあったとみなす日

平成30年7月26日(木)

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向 正悟

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向 正悟

(4) 第23回評議員会の開催及び決議の省略(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条)

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 公益目的事業の変更(事業の統合)に伴う認定申請について

議案第2号 決議のあったとみなす日

平成30年10月30日(火)

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向 正悟

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向 正悟

(5) 第24回評議員会

ア 開催日：平成31年3月25日(月)

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議事

議案第1号 平成30年度補正予算について

議案第2号 基本財産の運用における配賦率の変更について

議案第3号 平成31年度事業計画及び収支予算について

議案第4号 収支予算書に対する注記について

議案第5号 事業内容の変更に伴う認定申請について

4 監事監査

(1) 実施：平成30年5月16日(水)

(2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

(3) 監査事項：平成30年度事業実施状況及び収支決算について

5 監事による上半期会計監査

(1) 実施：平成30年10月25日(木)

(2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

(3) 調査事項：平成30年度上半期の会計状況の確認

6 全国明るい長寿社会づくり推進機構関係

(1) 平成30年度第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

開催日：平成30年7月4日(水) 場所：東京都

内容：平成29年度事業報告及び決算報告及び平成30年度事業の実施等について

(2) 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

開催日：平成31年1月23日(水) 場所：盛岡市

内容：全推連幹事会報告及び情報交換等

(3) 平成30年度第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

開催日：平成31年2月26日(火) 場所：東京都

内容：平成31年度事業計画及び収支予算等について

第32回全国健康福祉祭和歌山大会概要説明 ほか

第3 実施事業

I 健康いきがづくり支援事業(公益事業1)

[全ての人々が健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の形成に寄与する事業]

1 少子高齢社会に対応する民間・地域等の取組み支援

(1) 「いわて保健福祉基金」助成事業(継続)

保健福祉又は地域福祉の増進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業や高齢者の社会貢献活動に対して助成した。

ア 一般枠分	35 事業	26,026 千円
	(平成 29 年度 42 事業)	25,995 千円)
在宅保健福祉普及向上事業	6 事業	4,564 千円
	(9 事業)	6,615 千円)
健康、生きがづくり推進事業	16 事業	11,618 千円
	(13 事業)	7,717 千円)
ボランティア活動活性化事業	5 事業	4,247 千円
	(9 事業)	4,980 千円)
その他の事業	8 事業	5,597 千円
	(11 事業)	6,683 千円)
イ 特別枠分(ご近所支え合い活動助成分)	56 事業	6,172 千円
	(54 事業)	6,349 千円)

(2) 「いわて子ども希望基金」助成等事業(継続)

ア 「いわて子ども希望基金」

子育て支援や子どもの健全育成など、少子化対策の推進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業に対して助成した。

① i・出会い応援事業	13 事業	2,893 千円
	(7 事業)	1,444 千円)
② 地域子育て活動支援事業	37 事業	11,270 千円
	(34 事業)	10,259 千円)
③ 子育てにやさしい職場環境づくり助成事業	13 団体	2,857 千円
	(14 団体)	3,120 千円)

イ 経営者等セミナー開催事業（継続）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」への理解やその取り組み等を推進するため、企業や社会福祉施設の経営者等を対象に福岡県立大学人間社会学部講師 坂無 淳氏による講演、岩手県立大学副学長 堀江 淳氏、准教授 菅野 道生氏、(株)ベアレン醸造所専務取締役 畷田 洋一氏、(株)アート不動産従業員 葛 理恵氏をパネリストに招き、岩手県立大学准教授 庄司 知恵子氏コーディネートのもと、子育てと仕事の両立についてディスカッションを行った。

12月7日 盛岡市「プラザおでって」 参加者 54人（49人）

2 少子高齢社会に関する調査研修及び普及啓発

(1) 調査研究事業（継続）

次年度調査として、子育て支援に関する調査研究等を行うことを岩手県立大学と協議した。

(2) 普及啓発事業（継続）

情報誌の発行、インターネット及び広報媒体の活用により、少子高齢社会に対する県民の理解と関心を深めるための啓発活動を行った。

ア 情報誌「いきいきイーハトーブ」の発行（ホームページ掲載）

4回：6月（第21号）、9月（第22号）、12月（第23号）、3月（第24号）

イ ホームページの随時更新による最新情報提供

ホームページのアクセス数： 40,393件（41,212件）

3 高齢者等の健康の保持増進と生きがいの高揚推進

(1) 明るい長寿社会づくり推進事業（継続）

高齢者の健康の保持と生きがいの高揚を図るため、岩手県長寿社会健康と福祉のまつりの実施や第31回全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣等を行った。

ア 第30回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり事業

種 目 区 分	開 催 期 日	開 催 場 所 等	参 加 者 数	
県 民 長 寿 文 化 祭	作品展	30.6.8(金) ～10(日)	盛岡市市民文化ホー ル(出展数98点)	690人 (1,022人)
	囲碁大会	30.12.2(日)	岩手教育会館	46人 (59人)
	将棋大会	30.7.8(日)	北上市総合福祉セン ター	37人 (55人)
	小計			773人 (1,136人)
県 民 長 寿 体 育 祭	スポーツ交流大 会(9種目)	30.5.18(金) ～9.15(土)	盛岡市、遠野市、 花巻市	1,256人 (1,357人)
	ふれあいスポ ーツ交流大会 (4種目)	30.8.26(日) ～9.9(日)	盛岡市、北上市、 一関市	681人 (695人)
	いきいきシニ アスポーツ大 会(6種目)	30.9.1(土)	盛岡市	1,331人 (1,354人)
	小計			3,268人 (3,406人)
合 計			4,041人 (4,542人)	

イ 第31回全国健康福祉祭とやま大会参加推進事業

11月3日(土)から6日(火)まで富山県内で開催されたスポーツ交流大会等に県選手団を派遣した。

派遣選手等 167人、役員等5人 計 172人(参加費用の1/3を補助)
(177人、 5人 計 182人)

4 高齢者等への総合的な支援

岩手県高齢者総合支援センター運営事業（継続）

（※当センターは県が平成21年度に設置し、当財団が運営を受託している。）

(1) 相談事業

① 一般相談

高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談に支援相談員が対応した。

月曜日から金曜日の9時から17時まで実施 相談件数 1,177件 (1,372件)

② 専門相談

弁護士、司法書士などにより専門性の高い法律、認知症、人生などの相談を実施した。

毎月3回 相談件数 107件 (131件)

③ 特別相談（シルバー110番特別相談デー）

老人福祉月間に合わせ、弁護士、医師などによる特別相談を実施した。

9月15日（土） 相談件数 20件 (22件)

④ 地域包括支援センターからの相談への支援

地域包括支援センター職員からの相談に社会福祉士、保健師、介護支援専門員が対応した。

相談件数 154件 (168件)

⑤ 認知症普及啓発事業

認知症の正しい知識と理解の普及啓発や認知症の人及び家族への支援を行った。

ア 認知症の本人及び家族向け電話相談

平成24年4月に設置した「いわて認知症の人と家族の電話相談」

（電話0197-64-5112）の運営を認知症の人と家族の会に委託して実施した。

相談件数 60件 (69件)

イ 地域交流集会

認知症の人や家族等を対象とした「つどい」を県内11市町村で開催した。

141回 参加者 1,686人 (119回 参加者 1,258人)

ウ 認知症サポーター事務局の運営

- ・認知症キャラバン・メイト養成研修 1回 修了者数 90人
(1回 修了者数 80人)
- ・認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修 1回 参加者数 62人
(1回 参加者数 27人)
- ・認知症サポーター養成講座の実施 25回 受講者数 601人
(26回 受講者数 587人)
- ・認知症サポーター事務局連絡会議の開催 1回 20人 (1回 29人)

(2) セミナー開催事業

① 認知症セミナー

県民に認知症理解と予防を普及啓発するため、劇団の公演や若年性認知症本人である福田人志氏による講演等セミナーを開催した。

10月25日 岩手県教育会館多目的ホール 参加者 282人(256人)

② 高齢者権利擁護セミナーの開催

高齢者の虐待防止等に関わる高齢者の権利等の県民への理解の普及啓発を図るため、健康漫談を行うとともに、アナウンサーの大塚富夫氏による講演を行った。

11月13日 盛岡市「いわて県民情報交流センター」 参加者 393人(351人)

Ⅱ 高齢者福祉サービス推進事業(公益事業2)

[高齢者等への保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与する事業]

1 高齢者を支援する者の資質の向上を図るための研修事業(継続)

(1) 岩手県高齢者総合支援センター運営事業

① 地域包括支援センター等への支援研修

高齢者介護や相談等に必要な専門知識・技術を習得するための研修を実施し、高齢者への総合的な支援を行った。

ア 地域包括支援センター等の職員研修 8回 739人 (5回 715人)

イ 地域包括支援センター職員初任者研修 1回 69人 (1回 69人)

ウ 地域包括支援センターが実施する研修への講師の紹介等の支援

5回 参加者 221人 (9回 参加者 397人)

② 権利擁護に関する研修

判断能力が十分でない高齢者の権利や財産を守る権利擁護に関する研修、事例検討会を広域振興局等と連携し実施した。 地域研修会 4回 175人 (4回 202人)

③ 福祉用具・住宅改修に関する研修

要介護高齢者に適正な福祉用具の使用及び適切な住宅改修が図られるよう、福祉用具の使用及び住宅改修に関する知識、技術を習得するための研修を実施した。

福祉用具・住宅改修研修 3回 167人 (3回 190人)

(2) 地域包括ケアシステム基盤確立事業

① 地域包括ケアシステム情報提供事業

市町村職員、高齢者、医療・福祉関係者等を対象とし、地域包括ケアシステムの普及啓発のための公開講座を開催した。 1回 120人 (1回 96人)

② 認知症初期集中支援チーム運営等研修事業

全市町村において平成30年4月には設置することとされている「認知症初期集中支援チーム」の円滑な運営を支援するため研修会を開催した。

2回 112人 (2回 119人)

③ 認知症地域支援推進員体制整備事業

全市町村において平成30年4月には設置することとされている「認知症地域支援推進員」の円滑な活動を支援するため研修会及び連絡会を開催するとともに認知症ケアの向上を図るため、認知症カフェ等に関する研修会を開催した。

ア 認知症地域支援推進員養成研修会 1回 45人 (1回 34人)

イ 認知症地域支援推進員連絡会 1回 38人 (1回 34人)

- ウ 認知症ケア向上支援会議 2回 127人 (2回 106人)
- ④ 地域ケア会議活用推進事業
市町村または地域包括支援センターが開催する「地域ケア会議」の運営等について助言を行うために専門職を派遣した。
20市町 27回 (21市町 21回) (弁護士 13回(10回)、社会福祉士 6回(11回) リハビリテーション専門職 8回)
- ⑤ 生活支援サービスの充実・強化事業
介護予防事業へのリハビリテーション専門職の参画を推進するための研修会や連絡会を開催するとともに、市町村が平成30年度内に配置するとされている「生活支援コーディネーター」の円滑な活動を支援するため研修会及び連絡会を開催した。
- ① 介護予防事業へのリハ職参画に係る研修会 3回 127人 (5回 213人)
- ② リハビリテーション専門職介護予防従事者多職種連携研修会
1回 52人 (-)
- ③ リハビリテーション専門職連絡会議 2回 84人 (1回 32人)
- ④ 生活支援コーディネーター養成研修会 1回 75人 (1回 73人)
- ⑤ 生活支援コーディネーター連絡会 2回 191人 (2回 147人)

(3) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

介護者の負担軽減や利用者の生活の質向上につながる介護ロボットを展示・説明・相談を行うとともに、介護ロボットを巡る最新の動向等、各施設において効果的な活用に結びつける機会とするため、公益財団法人テクノエイド協会（全国の福祉用具の中央団体）から交付金を得て実施した。

- ・ 介護ロボットフォーラムの開催

高齢者介護職員等を対象に2月14日に開催した。

盛岡市「いわて県民情報センター」 参加者 200人 (236人)

(4) 認知症介護に関する研修事業

認知症介護サービスを提供する管理者や介護従事者等に対し、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施した。 修了者数: 814人 (943人)

- ① 認知症介護サービス事業開設者研修 1回 14人 (1回 32人)
- ② 認知症対応型サービス事業管理者研修 2回 90人 (2回 142人)
- ③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 1回 33人 (1回 44人)

④ 認知症介護実践者研修	3回 365人 (3回 390人)
⑤ 認知症介護実践リーダー研修	1回 65人 (1回 68人)
⑥ 認知症介護基礎研修	3回 247人 (3回 267人)

(5) 権利擁護に関する研修事業

介護保険施設等の職員を対象とし、身体拘束廃止・虐待防止に向けた啓発を図るための研修を実施した。 修了数者： 157人 (135人)

- ① 権利擁護推進員養成研修
身体拘束廃止等の取り組みを指導する職員を対象に実施
1回 89人 (1回 79人)
- ② 権利擁護看護実務者研修
医療的な観点から身体拘束廃止等に取り組む職員を対象に実施
1回 68人 (1回 56人)

(6) 地域づくりによる介護予防推進支援事業

市町村支援体制の整備に向けた普及啓発及び地域づくりアドバイザー派遣等を実施した。

- ① 介護予防推進支援セミナーの開催 参加者 79人 (1回、70人)
- ② 情報収集及び情報提供 25回
- ③ 地域づくりアドバイザー会議の開催 4回 (2回)
- ④ 地域づくりアドバイザーフォローアップ研修 4人
- ⑤ 地域づくりアドバイザー派遣等 18市町村 84回

(7) 介護ロボット導入支援事業（新規）

介護ロボット導入に向け、活用研修会等を開催し、活用方法の支援など、メーカーとの調整を図り、導入支援を実施した。

- ① 研修会の開催 1回、61人
- ② 導入成果報告会の開催 1回、109人
- ③ 事業者とメーカーのマッチング支援

2 介護支援専門員の養成を行う事業（継続）

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員となるための「実務研修」を受講するに際して、事前に介護支援専門員の業務に関する知識や技能を有することを確認するために試験を実施した。

ア 実施時期：10月14日（日）

イ 受験者数：760人（1,645人）、合格者数：52人（302人）、合格率：6.8%

（18.4%）

(2) 介護支援専門員実務研修・現任研修等実施事業

① 介護支援専門員実務研修事業

介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者を対象に研修を実施した。

・ 実施時期：1月～3月 88.5時間

・ 修了者数：52人（296人）

② 介護支援専門員更新研修・再研修

実務未経験者で介護支援専門員証を更新する者及び介護支援専門員証を失効した後、再交付を希望する者を対象に研修を実施した。

・ 実施時期：5月～6月 56時間

・ 修了者数：171人（191人）

③ 介護支援専門員専門研修事業（実務経験者の更新研修と同時開催）

介護支援専門員の専門性を高めるため、必要な専門知識、技能の研修を実施した。

ア 専門研修課程Ⅰ（同内容の更新研修を含む）

・ 実施時期：6月～8月 56時間

・ 修了者数：169人（201人）

イ 専門研修課程Ⅱ（同内容の更新研修を含む）

・ 実施時期：9月～11月 32時間

・ 修了者数：412人（510人）

④ 主任介護支援専門員研修事業

介護サービス提供者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するための研修を実施した。

・ 実施時期：9月～12月 70時間

・ 修了者数：112人（75人）

⑤ 主任介護支援専門員更新研修

主任介護支援専門員の継続的な資質向上を図るための定期的な研修機会を確保し、主任介護支援専門員の能力の保持向上を図った。

・ 実施時期：11月～12月 47.5時間

・ 修了者数：178人（174人）

3 介護サービス情報を公表する事業（継続）

介護サービス情報の公表事業

介護保険法第 115 条の 42 に基づく指定情報公表センターとして、県が策定する計画に基づき、介護サービス情報の報告の受理に関する事務、介護サービス情報の公表に関する事務等を実施した。

情報公表実施件数 2,202 件（2,125 件）

Ⅲ 被災地支援事業（その他事業１）（継続）

[被災高齢者等への支援や介護予防を行う事業]

被災地地域包括ケア支援事業

東日本大震災津波による被災地に大槌センターを設置し、支援相談員を配置し、被災地域の地域包括支援センター等の業務支援を行った。

(1) 大槌町において、巡回相談を実施した。

・巡回相談 119回 (219回)

(2) 陸前高田市、大槌町及び山田町における介護予防教室等への支援を行った。

・陸前高田市 10回 185人 (10回、249人)

・大槌町 66回 746人 (30回、496人)

・山田町 16回 354人 (53回 1,071人)

(3) 大槌町において、健康相談・サロンの開催支援を行った。

・大槌町 84回 329人 (219回 1,132人)

(4) 地域包括支援センター職員、介護サービス事業者向けの研修を実施した。

・4回 受講者数 202人 (4回 受講者数 117人)

(5) 被災地の介護予防普及研修会を実施した。 6回 597人 (6回 785人)

(6) 要介護高齢者等に対する虐待防止、認知症支援等の普及啓発を行った。

IV “いきいき岩手”結婚サポートセンター運営事業（その他事業2）（継続）

県内の結婚を望む人を支援するため、岩手県、県内全市町村、関係8団体と連携し、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」を盛岡市、宮古市及び奥州市で運営し、マッチングサポートによる支援を行った。

(1) マッチング事業

会員登録者数 943 人 (1,105 人)、お見合い件数 (累計) 1,536 件 (1,110 件)、交際件数 (累計) 753 組 (539 組)、成婚数 (累計) 58 組 (35 組)

(2) 出張サービス

釜石市 24 回 (24 回) 利用者数 61 人 (60 人)

久慈市 24 回 (24 回) 利用者数 35 人 (35 人)

二戸市 24 回 (12 回) 利用者数 41 人 (31 人)

(3) 結婚支援フォーラムの開催

「～人と人とのつながり、これからの結婚支援を考えてみよう～」をテーマに、富山県南砺市結婚応援団なんとおせっ会副会長 山田由理枝氏による講演と、一般社団法人日本結婚支援協会代表理事 田口智之氏による事例報告を行なった。

平成 31 年 3 月 1 日 (金) 盛岡市「プラザおでって」 参加者 59 人

(4) 情報発信

ア ホームページ運営

イベント情報の発信、各種会員登録受付

メルマガ会員 438 人 (420 人)、出会い応援団 58 団体 (58 団体)、社員の結婚応援企業 10 団体 (7 団体)

イ i-サポのPR

- ・ マ・シェリ、いわにちりビングへの広告 (6 月、9 月)
- ・ 日報 TV ガイドへの広告 (7 月)
- ・ 盛岡地区列車時刻表広告 (10 月)
- ・ 一関地区情報誌「まちいろは」への広告掲載(10 月から 6 回)
- ・ 宮古サーモンハーフマラソン成績表チラシへの広告(11 月)
- ・ 宮古地区情報誌「マロウド」への広告(11 月)
- ・ タキザワコレカラ会議(滝沢市)において i-サポブース出展等(2 回)
- ・ カシオペア FM での PR 放送(二戸市の協力)
- ・ 宮古ハーバーラジオでの PR 放送(宮古市の協力)

ウ 県の広報媒体を活用した PR

- ・ テレビ広報 (わんこ広報室 11 月)
- ・ ラジオ広報 (IBC ラジオ 9 月)

- ・ ツイッター広報（6月、9月）
 - ・ 県北広域振興局によるi-サポリアルツの配付(美容室等へPR協力依頼)
- エ 構成団体の各種広報誌、ホームページによりPRを実施